



ブラームスとバロック音楽

青年期のブラームス

講師 桐朋学園大教授 西原稔
ピアニスト 神谷悠生 チェリスト 香月麗

シューマンの門を叩いたブラームスをもっとも熱心に取り組んだのは作曲学の研究で、そのもっとも重要な課題がバロック音楽でした。今回のレクチャー・コンサートでは青年期のブラームスをテーマに、彼のヘンデルとバッハ研究の成果である「ヘンデルの主題による変奏曲」と「チェロ・ソナタ第1番」を取り上げたいと思います。彼はヘンデルの作曲した変奏曲と同じ主題を用いて、バロック時代のさまざまな表現技巧を自身の手法でまとめ上げました。そこにはどのような手法が駆使されているのでしょうか。そしてバッハ研究は1860年頃からの様々な作品にその成果が取り入れられています。この「チェロ・ソナタ」ではバッハの未完の大作「フーガの技法」が研究対象でした。ブラームスがどのようにバッハと取り組んだのかをくわしく紹介したいと思います。実際の演奏を通して作品の奥義を鑑賞していただければ幸いです。

(西原講師・記)

<演奏予定曲目> ※変更の可能性もございます。予めご了承ください。

ブラームス 「ヘンデルの主題による変奏曲」

「チェロ・ソナタ第1番」

日時 2018年 12/1 土曜日 16:00 ~ 17:30

受講料 会員 3,888 円(入会金は 5,400 円。70 歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 4,536 円

※入会金・受講料・教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿 〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
https://www.asahiculture.jp/shinjuku

<講師紹介>

・西原稔 (にしはら・みのる)

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士過程満期退学。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」(以上、音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「楽聖ベートーヴェンの誕生」(平凡社)などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」(東京書籍)、監訳・共訳で「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」(平凡社)などがある。現在、シューマンとブラームスに関する著作に取り組んでいる。

・神谷悠生 (かみや・ゆうき)

6歳よりピアノを始める。

第64回全日本学生音楽コンクール高校生部東京大会2位、全国大会横浜市民賞(聴衆賞) 第12回シ

ヨパン国際ピアノコンクールin ASIA 高校生の部 アジア大会銀賞 第4回桐朋ピアノコンクール第2位。

第82回日本音楽コンクール本選入選、高関健指揮東京交響楽団と共演。

第5回せんがわピアノオーディション最優秀賞 梅津時比古学長推薦によるパーゼンドルフアーランタイムコンサート、カワイ表参道コンサートサロンでのリサイタル等多数のコンサートに出演。

これまでに室内楽を藤井一興、原田幸一郎、藤原浜雄の各氏に、ピアノを大嶋郁子、徳丸聰子の各氏に師事。現在音楽理論を内藤晃、ピアノを水谷稚佳子、中井恒仁の各氏に師事。

・香月麗 (かつき・うらら)

1997年生まれ。愛知県出身。3歳より故久保田顕氏のもとでチェロを始める。現在、倉田澄子氏に師事。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部ソリスト・ディプロマコース4年に在籍。「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学生。第69回全日本学生音楽コンクール大学の部1位、日本放送協会賞。

第86回日本音楽コンクール第1位、あわせて徳永賞、E.ナカミチ賞を受賞。名古屋フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、群馬交響楽団と共演。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクトQに参加。